

CIPA

Chugoku Interior Planner's Association
<http://cipa21.com>

中国インテリアプランナー協会

2018 vol.23

通信

communication

〒731-5135

広島市佐伯区海老園 1-13-7

(有)エルイーオー設計室 内

tel : 082-923-2132

fax : 082-922-0018

e-mail : cipa@cipa21.com



林檎の礼拝堂

「邯鄲の夢」 かんたん

二千数百年前の中国に「邯鄲の夢」という話が生まれた。ある青年が野望を持って邯鄲へやってくる。宿の主から思い通りになるという枕を借りて昼寝をする。夢で、栄華をきわめた生涯を体験するが、目をさますと、おかゆが炊きあがらない間のことであつた。青年は人の世のはかなさを悟り、ふる里へ帰って行く。この話を聞いて、三百年前の江戸時代に与謝蕪村が「邯鄲の市に河豚見る雪の朝」と詠んだ。(歓楽地の邯鄲にふさわしく、雪の朝、河豚が売られていたと)まさに都市、夢、言葉が時空を超えてゆく。

2018・6・3 日高卓三

広島島の森保です。

6月5日に、宮島にて、宮島の建築家の会である「いつくしま・まちなみ研究会」の2つの分科会の合同企画で、「学習会」を開催しました。当日のテーマは、「宮島の暮らしから、町家・町並み等の魅力(お宝)を共に学ぼう!」と云うもので、当日は、その「第1回」その導入・準備編」ということでした。研究会の呼掛け人であり、現在、その会の共同代表である、私、森保が、講話と進行役を務めました。同会・同分科会に、ご一緒の中川圭子氏から、当日の学習会終了後に、当日の45枚の資料の内の2枚を使わせて欲しい。と云う依頼を受けました。そこで、ここに提供させて頂きます。これは、宮島にて町家・町並みを考える際の基礎的な資料の一つであり、「宮島の町・町並み形成の基礎」、「町屋と町家の相違」と「宮島の町家等の類型」についての講話資料です。当日の学習会は、「(1)研究会、分科会の主旨・概要の説明」と、「(2)宮島の暮らし、生活文化・芸能・風習等の側から、宮島の町家・町並み等の魅力(お宝)を考えよう!」と云う内容でしたが、ここで提供したものは、(2)の最初に皆さんに、お話し致したものです。極めて、部分的な資料の披露にて、どの様に、皆さんのお役にたつものか分かりませんが、ご覧頂けますと幸いです。実は、私の専門は、「建築・まちづくり」ですが、伝統的集落のお世話を、宮島も含めて、この20年以上させて頂く中で、インテリアという領域の大事さ、更に、インテリアのみならず、その関連領域を含めた眼差しの大事さ、こうした総体よりの支援を、集落は待っておられること、等々を、強く感じております。今後、何かの機会に、伝統的集落のお世話・お手伝いをされる際の、多少ながら参考になる部分があれば嬉しく思います。

1 宮島の町・町並み形成の基礎

- 「厳島」(正式名称)・「宮島」(お宮のある島)。
- 「宮・廿日市」(古く、室町期頃から、廿日市・地御前と宮島は依存・補完地域)。
「厳島宮千軒」:江戸期から呼称。
- 「宮島」:厳島神社の門前町(全体)。及び、西町(平安末・鎌倉末以降)・東町(室町末期以降)も門前町。(2種の門前町と理解!)
- (正式) 厳島神社「いつくしまじんしゃ」
⇒島民は「じんじゃ」とは云わない。
- 宮島の特徴⇒「自然」・「信仰(神社・寺)」
・「観光(店・サービス)」・「信仰と共にある生活(基底)」・その他。
- 各町の範囲:右図。《各門前町:範囲》

*埋立・みち・敷地割⇒町の形成。



西町「千畳閣・五重塔のある「塔之岡」を境に西町。」

【文章:出典】各種文献・他
によりますが、詳細は割愛致します。

2 町屋と町家、宮島の町家等の類型

- 【屋】・・・「尸」(かばね)は、原字において布を垂らした様で、「至」は、行き止まりを意味し、テント状の屋根を持つ建物の意。「もの」、「場」的な意味:大。
- 【家】・・・「𠩺」(屋根、建物) + 「豕」(豚、家畜)で生活を行う建物(通説)。人が住み、生活に用いる建物、住居、等の意。「もの」的な意味と、「生活」的な意味とが含まれる。
- 【町屋】:町なかの屋根を持つものとして、生活系に、こだわらない「もの」としての建物。店舗等と住宅が一体化した建物はその一つ。平安時代の古い書物・絵図に「町屋」という記載があり、古くからの標記と云える。つまり「もの」が主対象。
- 【町家】:町なかに人が住み、そこで生活を行うと云う、そこでの住居としての建物を意味する標記と云えよう。つまり「もの」と「こと(生活)」が主対象。
- ⇒宮島では、【町家】の表記がよろしいと考え、これを用いたい。

【地図】ネットから引用させて頂いた。
記して感謝したい。



東町の風景



西町の風景

■ 宮島の町家・等の5類型:

- 「長屋」:各町の町なかの密集地に有り。昔、2~4軒長屋:幾つか有り。
- 「町家」:各町の町なかの密集地に有り。
- 「民家・屋敷」(含、「別荘」):
 - *東町・西町共通:各町の町なかの密集地の外側に多く有り。
 - *西町:滝小路の東側や、柳小路の両側に多く有り。
 - *「(大きな)屋敷・別荘」:少数ながら、両町の山側にあり。西町に多い。
- 「蔵」:東町・西町共通:現在も少ないながら存在。
- その他:「附属屋」・「塀・等」(含、練塀):省略。

2020年、中国インテリアプランナー協会で全国大会をお世話する事になりました。さてさて、前回は宮島での開催。沢山の皆様に喜んで頂いたものの、次回はどうしましょう？と委員会では度々議論してきました。

数箇所の開催候補の中に、軀の浦がある。何度も軀の浦や仙酔島には見学会も開催し、個人的にも足は運んでいたものの、表面的な視点でしか見ていないのではないだろうか？

悶々としていた時に、全く予想もしなかったタイトルの見学会が開催される事を知り参加してきました。

福山市文化財保護指導員の北村憲司氏による解説は石垣を中心に歴史のポイントを実際に歩き見ながら（約8・5kmを2時間くらい掛けて）のもので解りやすく興味をそえられる解説でした。

ここ軀の浦は潮待ちの港として大きく発展を遂げ戦国時代から江戸時代にかけて瀬戸内海の航海においては非常に重要な地点でした。

常にここでは戦いの歴史、政治の歴史が大きく左右し明治以降は衰退をしたが貴重な町の形態を持ち全国で初に指定された瀬戸内海国立公園です。

町の見どころは歴史のある数々のお寺、入り組んだ路地裏、そして潮の高さが変わっても船のつけれる石段（雁木）、港のシンボルである常夜灯、太田家住宅は国

の重要文化財に指定され、軀の浦歴史資料館では多くの資料を見ることが出来ます。

そしてこの度は日本遺産にも認定されました。

そんな通常観光客が廻るルートからは大きく外れ、民家の路地や裏山を歩いて廻ります。

軀の浦には採石出来る地質はなく、殆どが近辺の島から運ばれて来たようです。

その石垣の石に摩訶不思議な△○□等々の図形が刻まれています。

殆ど中世期の物らしいのですが、採石地や石工、福山城後の刻印と軀城跡の刻印に同じ文様が多いことで様々な想像・憶測ができるようです。

古いお寺の石垣の中に五輪塔が埋められていること。

軀の浦はお寺さんも含めて住人は神社の氏子で、昔からとても信仰深い地だそうです。

家々の玄関口には茅の輪くぐりのミニチュア版が飾られていました。

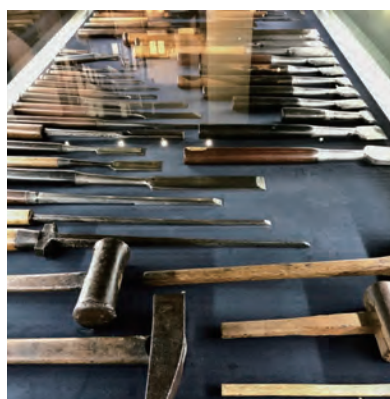
地元住民の生活には不便な狭い路地や道路が開発に歯止めを掛けているのでしょうが、何とか残してほしい文化的価値ある遺構だと思います。

奥深い軀の浦を発見させて頂きました。きっと全国のインテリアプランナーの方々にはこの軀の浦は魅力的な町に違いないと確信できた気がします。



竹中大工道具館と近江八幡、ラ・コリーナ、ヴォーリス建築探訪

とき:9月30日～10月1日



中国インテリアプランナー協会で竹中大工道具館と近江八幡、ラ・コリーナとヴォーリス建築探訪と題した1泊2日の見学会を会員9名で開催しました。

1日目は昼過ぎから新神戸駅近くの竹中大工道具館に集合し、ゆっくりと展示物を見学、消え行く大工道具の使われ方、人の技と知恵、木の文化に触れた見学でした。ほとんどの人たちが初めての訪問という事もあり、長時間に渡り、熱心に食い入るように見学されていました。

夕方にかけて、それぞれ滋賀県近江八幡へ移動し夜はもちろん近江牛を堪能・・・。

翌朝早めに近くにある御上神社（この社殿は鎌倉時代に建立され国宝）にお参りし、凛とした朝の空気を頂き、ラ・コリーナに向かいしました。この度は、企画担当の方をご紹介します、個人的に案内して頂きました。

9時開門のラ・コリーナ（藤森照信設計のたねやグループのフラッグシップ店）は（既に多くのお客さんが列を作っていた）一般客とは別に各建物や公開されていない本社社屋の内部やバックヤードの植物群等を丁寧な説明で見学させていただき、

従業員の方々のこの場所に対する思いや活動を生の声で聞かせていただく、貴重な機会を与えて頂きました。蛇口からホースまで、裏方の細部に渡るまでデザインにこだわられる様にはびっくりしました。

まるで、ジブリの世界に迷いこんだような、藤森ワールドを堪能させて頂きました。

昼食も近江八幡のたねやの人気店を予約していただき、会食。普通で訪問すると、時間も場所もままならない程、何処もごった返ししています。特別待遇をして頂いた事に感謝でした。

そして午後からはここ近江八幡に約22件点在するヴォーリス建築の主だったものを数件歩きました。古くなっても尚、未だに新しい発見があります。彼の建築に対する人柄や心情を感じ、デザインの奥深さを改めて感じた見学会でした。

事務局



「林檎の礼拝堂」 建築紀行

エルイーオー設計室 中川裕二

十数年前、書店の棚で「林檎の礼拝堂」（田窪恭治著）赤い表紙の「林檎の礼拝堂」田窪恭治著の本に出会った時から、この教会にいつか行きたいと思っていました。この度のブルターニュ、ノルマンディー地方のロマネスク探訪（この礼拝堂はロマネスクではありませんが）の一番の目的でした。

林檎の礼拝堂（サン・ヴィゴール・ド・ミュー礼拝堂）はフランス・ノルマンディー地方でパリから直線で北西約200kmのファーレーズ市から数キロの広大な畑の中にあり、小さな集落（サン・マルタン・ド・ミュー村）の礼拝堂として18c頃建てられ18c中頃から廃墟同然の状況を偶然知った田窪恭一が、家族全員で見知らぬこの地に10年以上住み続け制作活動し、すべての資金は個人や企業の寄付でまかなわれ1996年夏に完成した小さな礼拝堂です。

この地方は雨の多い地域で礼拝堂に着き係の人を待っている間、幸運にも小雨交じりの曇り空が青空に変わって、中に入ると屋根の一部が12色のガラス瓦で葺かれそこから差し込む光が美しい…。



礼拝堂内壁は四季の林檎がそれぞれの面に描かれ（壁面は鉛で覆われ30工程で色付けされた後に白が塗られ数種の引掻くコテの力の入れ具合で色が出てくる）床は30mのコーテン鋼板が敷き詰められている…。

それだけを想像してみてもこの空間の凄さは見当がつくと思います。

聖堂反対のドアを開けるとそこには樹齢600年を超えている「いちい」の木がこの礼拝堂を見守っています。

滞在時間は1時間程度でしたが太陽の位置が変わると礼拝堂内壁の林檎の絵も様々な表情をするのだろうと後ろ髪引かれる思いでここを後にしました。

出入り口の厚いドアは表面が鉛で覆われここに携わった全ての人の名前を田窪さん自身がタガネで一つ一つ打ち込んだそうです。

この礼拝堂は通常7〜8月は土曜午後から見学ができるようですが、事前にカーンの友人が観光課に連絡しタイミングよく開けて頂け幸運でした。

ウクライナ・スラヴチチでのチェルノブイリ追悼式

中川圭子

キエフから約2時間半バスに揺られ自然の中にいきなり現れた町、スラブチチ。チェルノブイリ原発で強制避難させられた原発作業員の居住地として作られた新興都市です。

想像した町とはかけ離れたまるで学園都市の様な雰囲気のある町。

広場を中心として全ての施設が徒歩10分以内で行けます。

ここには美術学校や音楽学校もあり、広島から寄贈されたキッズゲルニカが学校の壁に飾られていました。

この度は長崎から被爆者の82歳の井原さん御一行と、私達広島メンバーが昨年の夏に広島で制作して頂きました「起き上がりこぼし」を数十体、このスラブチチの博物館に寄贈する寄贈式と子供達のワークショップと私は広島から被爆

ヴァイオリンを持参し、広島の音楽家を同行するという役割で参加しました。この町では「起き上がりこぼし」プロジェクトはとて有名で、昨年の夏にはこの子供達や作業員の方々の作品も広島に飾られていました。

広島の若手アーティストが子どもたちとの絵のワークショップと、音楽ホールにて、ウクライナのヴァイオリニストのイリア君の演奏会がありました。

実は、この広島女学院所蔵の被爆ヴァイオリンは戦前ロシアから亡命され、広島女学院で音楽教師をされていたパレスチコフさんの持ち物でした。牛田で被爆され、

その後アメリカに渡られ、広島女学院の100周年のときに寄付されたものを5年前に再生されたものです。

実は、この被爆ヴァイオリンの持ち主のパレスチコフさんのお爺様はキエフ出身でした。

この度、初の里帰りとなったのです。成り行きからとは言え、不思議な巡り合わせです。

イリア君の演奏は本当に素晴らしいものでした。

そして、パリから広島出身の演奏家、ソプラノの中川詩歩と、ピアニストの宮田嘉子さんが参加してくださり最後に演奏してくださいました。

流石、1500余年の歴史をもつ東スラヴ随一の古都。芸術に対する意識の高さをこのスラブチチでも感じていました。

皆さん前乗りになって食い入る様に聞いてくださり、涙される方まで、最後の日本の歌を聴いた方は、演奏後でステージまで駆け寄ってくださり、さくらさくらと一緒に合唱したりととても素晴らしい交流ができました。

井原さんと原発作業員の方々との対談では、核心に触れた対談が繰り広げられました。

改めて、その立場立場で思いも考え方も違うことや、いろいろ考えさせられる貴重な対談でした。

そして、1986年4月26日・1時23分のチェルノブイリ原発事故の時間に合わせた追悼式典。

原発作業服らしい白い制服の人々がキャンドルを持って並べられ、祈りの後は子供達がキャンドルを持って形作る光のロードを参列者が献花して祈りを捧げます。私達はスラブチチ市長の後に献花させて頂きました。

崇高な祈りの場に立ち会い、胸が込み上げてきました。

翌日、スラブチチからの道のりは道路はガタガタ、油断して寝ると鞭打ちに成りかねない状況です。油断を許さないウクライナ情勢から仕方がない事かもしれません。

キエフには京都公園という大きな緑地帯があります。キエフの人々にとって日本は身近な存在なのです。

という、私は今までウクライナは遠い国、何も知りませんでした。

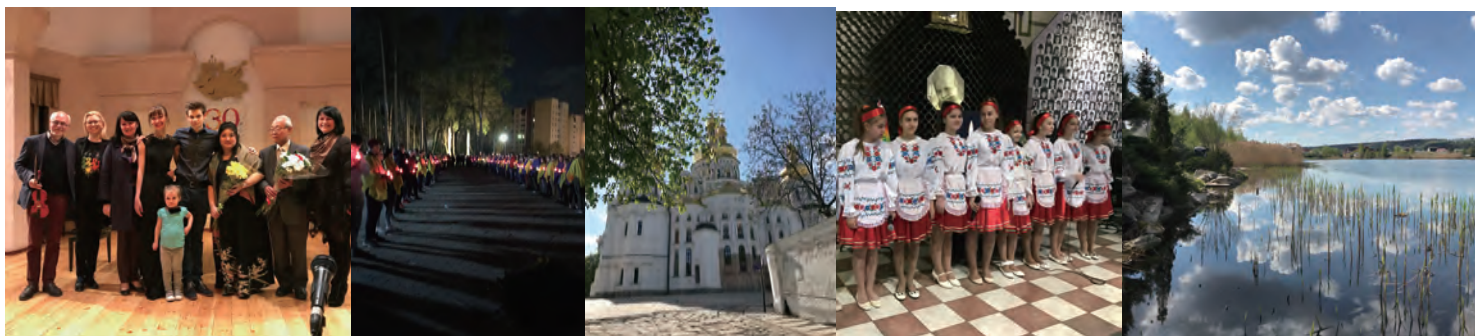
今までロマネスクを求めて旅していた身にとってこちらの教会はあまりに対極にあるスタイルです。

金銀に違和感を覚えたつとも、空の青さとこの色合いの美しさに段々と馴染んできました。

教会内の造作や絵の美しさ、参拝される方々の真剣な祈りの姿に感動しました。聖地のあるべき姿を見せて頂いた気がします。

国境も言葉も越えて通じ合う事。平和は人と人と出会いから始まる事、

若い世代の人達にもつとつと感じ、経験して欲しいと改めて感じました。



法人会員のご紹介

- ◆ 株式会社ウッドワン
<http://www.woodone.co.jp/>
- ◆ 大光電機株式会社
<http://www2.lighting-daiko.co.jp>
- ◆ 株式会社テックス
<http://tex-21.com>
- ◆ トーソー株式会社広島支店
<http://www.toso.co.jp/>
- ◆ 西武株式会社広島営業所
<http://www.seko.co.jp/>
- ◆ (株) 小城六右衛門商店
<http://www.ogirokuemon.com/>

■二次試験対策講座の開催！

個人指導にて素晴らしい合格率を誇っています。

今年度の講座からの合格者

南 順子 様 上田 和恵 様
堀野 恵子 様 中村 美保 様
白井 美知子 様 中野 千里 様

6名の方々が合格されました。
おめでとうございます。

■準会員、法人会員の募集！！

準会員は資格がなくても、ご興味有る方、
一緒に活動して下さる方なら、
どなたでも参加できます。

是非、お問い合わせください。

表紙写真：

林檎の礼拝堂：内部壁面は絵の具の層が30回塗り重ねられ幾重にも重なる
色から生まれた林檎の木は重厚であり可憐でも有る。

サン・ヴィゴール・ド・ミュー礼拝堂 (Chapelle St-Vigor-de-Mieux)
ノルマンディー地方 / フランス

写真：中川 裕二

〈平成 29 年度 中国インテリアプランナー協会活動記録〉

- 2017.06.10 講演会：「坂出人工土地の今と未来の記憶」
講師：藤井容子（香川大学）
2017.09.30-10/1 見学会 竹中大工道具館、ラ・コリーナ
2017.11.11-12 HIROSHIMA DESIGN DAYS 2017
2018.02.23 講演：「古民家・古材とは」
講師：貴船一樹
2018.03.05 講演：「2017 イタリア南部旅行」
講師：中川裕二

〈平成 29 年度 総会のご報告〉

6月16日（土）ラ・ヴィオラ
総会：16：30～17：30 懇親会 17：30～

- ・平成 29 年度活動報告及び会計報告
 - ・平成 30 年度活動計画及び予算案の承認
- 平成 29 年度総会を上記の要領で開催致しました。
会員の皆様には、多数ご参加頂きありがとうございました。

インテリアプランナー試験と登録制度が変わりました。

主な変更事項等

- これまで一体として実施していた学科試験と設計製図試験を分離することにより、試験内容の充実を図ります。《これまでの試験時期（11月）を学科試験（6月）と設計製図試験（11月）に分離します。》
- 受験者の年齢制限を撤廃し、学科試験の合格者はアソシエイトに、登録することにより「アソシエイト・インテリアプランナー（准インテリアプランナー）」の資格が付与されます。
- 設計製図試験は、原則として、学科試験に合格しなければ受験できなくなります。
- 受験者が学習しやすい環境を整備するとともに、受験手数料を引き下げます。
- インテリアプランナーの登録に必要な実務経験年数を「0年又は所定の2年～6年」から「0年又は一律2年」に短縮します。

〈事務局より〉

■国民健康保険にご加入の方へ

CIPA 会員で加入条件を満たす方は、「文芸美術国民健康保険」に加入することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.bunbi.com>

■平成 26 年度インテリアプランナー試験対策用テキスト頒布

詳細はホームページでも確認できます。fax:06-6266-5745

<http://www.jipa.net/kipa>

発行：中国インテリアプランナー協会
〒731-5135 広島市佐伯区海老園 1-13-7
tel：090-7540-8975 fax：082-922-0018
<http://cipa21.com> mail：cipa@cipa21.com

発行日：平成 30 年 6 月
編集：中国インテリアプランナー協会 事務局

編集後記

外国にでてみると、日本は世界中から注目を浴びている事に気付かされます。

日本の文化・伝統、生き方そのものが特異性を持っているのか、鎖国時代に独特の文化を形成してきたからか..

パリでは、俳句も大流行。3つの流派の俳句があるそうです。

5.7.5 をどうフランス語で表現するのか???

外国人に日本文化を教えてもらう日がきたりして..(汗)